

# 令和4年高梁川源流キャンプ

自分みがきキャンプ～「おとなになる前にやっておくべきことがある」

## 活動の記録



令和4年8月7日～8月11日

令和4年度「社会教育関係団体による地域パワーアップ事業」

特定非営利活動法人 自然体験活動支援センター

災害支援ネットワーク NPO かけはし

# 高梁川源流長期キャンプ 2022 実施要綱

**趣 旨** 子どもたちが夏休みの 5 日間、親元から離れ、岡山県の三大河川のひとつ高梁川の上流の山村で生活し、山村体験や自然体験を通じて、自然と調和を図りながら暮らす人々の努力や知恵を学び自然と人々とのかかわり方について考察を深めると共に、自然に対する興味を深める。また、共同生活と地域住民とのふれあいの中で、協調性、社会性、自立性を身に付け、生きる力を育む事を目的としています。

**期 日** 令和 4 年 8 月 7 日（日）～令和 4 年 8 月 11 日（木） 4 泊 5 日

**活動場所** 岡山県新見市神郷町油野

**宿泊場所** 氷室もりの学校

**参加対象** 小学校 3 年生から小学校 6 年生

**参加者数** 10 名

**スタッフ** キャンプディレクター : 森一晃  
キャンプカウンセラー : 林美奈子 大塚理可  
サポート : 福水満之 大森功資  
林業体験 : 大原亀義  
農業体験 : 三室農事組合法人  
備前焼体験 : 三国窯

8月7日



7:00 倉敷駅集合 開会式



10:00 氷室もりの学校到着。  
オリエンテーション。



班分け。



生活スペース作り。



調理・食事スペースになるテ  
ント設営。



昼食は、スタッフが作った焼  
きそば。



昼食の跡片付けは子どもたち  
で。



もりの学校のすぐ横を流れる  
三室川で川遊び。



16:00 夕食作り。作り方をレ  
クチャー。



ここから調理は子ども達の仕  
事。



豚丼とみそ汁完成。



一日のふりかえり。

朝の開会式では、新型コロナウイルス感染対策とキャンプの趣旨について説明。  
今回は、参加者10名、全員男子。  
10:00 予定通り、氷室もりの学校に到着。現地集合の2名を加えあらためてあいさつ。  
施設の使い方、生活のマナーやルールを説明。そして班分け。  
生活環境作りとして、体育館の掃除をし、畳を間隔をあけて敷、寝床作り。そしてグラウンドに出  
て、食事に使うテントを設営。積極的に動く子、動くふりをする子、何をしたいかわからない  
子、と様々、早く集団生活の意味を理解し、動けるようになってほしい。  
午後からは、汗を流す意味も含め川遊び。初めての川遊びで、歩き辛そうですが、徐々に慣れて  
行っている様です。キャンプ終盤のシャワートレッキングで自分の身を守る準備でもあります。  
ふりかえりでは、活発な発言はなく、こちらからの質問形式となりました。  
調理では、ご飯が固く今日の反省をもとに明日はおいしいご飯を炊きたいとのことでした。



朝の健康チェック。



農業体験。ケール（青汁の原料）の説明、作業の説明を受ける。



ケールの葉の痛んでいるものを摘葉。



労働の対価として菓子パンとジュースをいただく。



防災プログラム。



昼食作り。ケールの葉を刻みキャベツと混ぜお好み焼きに。



おいしかったようです。



備前焼土ひねり。先生のデモ。



熱心に取り組んでくれています。



だいぶん形になってきました。



登り窯を見てびっくり。



今夜はロコモコ。

農業体験では、まずケールについて説明があり、青汁の原料であること、青汁は元倉敷中央病院院長遠藤仁郎博士が発明したこと、ここのケール栽培は高知の会社との契約栽培であることを知りました。大切な商品であることを知ってか、真剣に作業をしてくれました。農業法人の方からも、ずい分はかどったとお褒めの言葉をいただきました。

防災プログラムは、「クロスロード」に挑戦。「自分の非常食を周りのみんなにも分けるか?」「登下校中に大地震がきたら家に帰るか?」など、実際に自分の身に起きうるトラブルに対し、自分がどう対処するのか。一人ひとりが真剣に考え、それについて活発な意見交換ができていました。

昼食は、いただいたケールをお好み焼きに入れて食べることにしました。もともとケールはキャベツの一種なので違和感はありませんでした。みんなおいしいと好評でした。

土ひねりは、使えるものをつくろうということで、皿・コップ・花瓶など思い思いに制作。イメージしたものを先生に教わりながら熱心に取り組んでいました。

生活面では、グループ意識が薄く、自分の役割が済めばそれでよし（役割も忘れて遊ぶ子も）、次に何をすればよいかなど思いすらない状況です。言われたことしかできない子が多く見受けられます。

8月9日



朝食は好みの具を入れてのおにぎりとみそ汁。



朝食後、真夏の雪遊び。ではなく、除草のための塩まき。



防災プログラム。毛布と物干し竿で担架を作りました。



消火ゲーム。川の水を汲みビニールプールを一杯にする、



各チームバケツリレーの効率よい方法を考える。



昼食は、ぶっかけうどん。



林業体験。資料を基に山の仕組みを教わる。



アカマツの伐採見学。



枝を払った丸太を薪の長さに切っていく。



小さくなった丸太をトラックに積む。



川で冷やしたスイカでおやつタイム。



夕食はカレーとサラダ。

朝食後、もりの学校の運動場に除草のための塩まきのお手伝いをしました。一見すると雪遊びのように見えますが、立派なお手伝いです。

防災運動会では、大声で助けを呼ぶ大声大会（アプリを使い音量測定）、手近にあるもので負傷者を搬送しようということで、まず毛布の両ふちを巻いて持ち上げる。もっと持ちやすい方法として、物干し竿を毛布で巻いて担架を作る方法を体験しスピードを競いました。最後は消火活動としてバケツリレー。川の水を汲んで早くビニールプールをいっぱいにする競争です。

林業体験ではまず山の仕組みのお話から始まり、間伐作業は木を間引いて良い木を育てることは知られているが、ここでは下草を生やし土砂の流出を防ぐ目的で行っている事を学ぶ。今回は備前焼を焼く薪にするため、アカマツの伐採。実際の伐採作業を目の当たりにしその迫りに圧倒されていました。

アクティビティは熱心に取り組んでくれますが、生活面は相変わらず、グループの構築ができていません。

		
<p>朝食はハムエッグとスープ</p>	<p>防災プログラム。</p>	<p>昼食は和風キノコパスタ。</p>
		
<p>シャワートレッキング前の注意事項の説明</p>	<p>スタート直後。恐る恐る川底を探りながら行く。</p>	<p>瀬の音に圧倒され緊張感が増す。</p>
		
<p>白く泡立っているがパワーがない所もあることを知る。</p>	<p>慣れてきて、こわばった顔が、笑顔に変わる。</p>	<p>白く泡立っているが流れがない。こういう場所は川底に流れがあり危険であることを説明。</p>
		
<p>地元テレビのインタビュー。</p>	<p>夕食は鶏のから揚げ。</p>	<p>ふりかえり時、信頼関係を構築するゲームを実施。</p>
<p>朝食作り、防災プログラムは、倉敷市議会議員のお二人が視察してくれました。防災プログラムでは、「マイタイムライン作り」に挑戦。台風などによる大雨や浸水被害については、ある程度、事前に予測することが可能です。初めに、ハザードマップや台風進路図、雨雲レーダーの見方を学習しました。その後、「台風最接近3日前には〇〇する。」「台風最接近2日目には〇〇する。」など、台風接近に伴い自分たちが何を準備し、どのように動くかをワークシートにまとめました。できたマイムタイムラインは、ペアで発表し合うことで新たな気づきを手に入れる子もいました。</p> <p>午後からのシャワートレッキングでは、瀬のパワーや水の冷たさに、最初怖がっていましたが、徐々に経験値が上がり、楽しみへと園はしていきゴール後には「もっとやりたい」と全員の声。もちろん川の危険箇所については重々説明しました。</p> <p>夕食後、一つの班にトラブル発生。その班を呼び、話し合いの交通整理をすることでお互いの言い分を理解し和解。相手の話を聞く、相手を理解することの大切さがわかってくれると良いのだが・・・</p>		

8月11日



朝食は卵焼き・ウインナー・サラダ・味噌汁。



体育館を片付け、グラウンドのテントを畳む。



キャンプ全体のふりかえり。個人シート記入。



昼食はぶっかけそうめん。



スタッフからのキャンプ総評。



MVP発表。(MVPに近い)



無事倉敷駅到着。解散。

最終日は、片付けがメインです。昨夜、「明日は片付けで大変じゃなー」と言った子が朝「今日は何するん？」と聞いてきた。(ショック!) この言葉が全てを表しているように思う。それならと、すべて指図して片づけを進めることにする。すると見事に10時出に終了。予定よりかなり早く出来た。言われたことは出来る(素晴らしい)言われたことしか出来ない。残念)

個々にキャンプのふりかえりをシートに記入してもらいました。

昼食は、片付けの都合でスタッフが作りました。

午後からは、スタッフからの総評と個人面談。個人面談では、キャンプスキルに自信をもって参加した子が、うまくいかず苦労したにも関わらず、一生懸命頑張ったことを褒めると、自分をちゃんと見てくれていた事に感動したのか泣き始めました。本人曰く「叱られると思っていたのに・・・何で涙が出るんか分からん」とのことでした。

## キャンプを終えて

病気やケガもなく無事キャンプを終えることができました。

アクティビティはとても真剣に取り組んでくれ有意義なものとなりました。しかし、その反面、生活面では指示されたことは出来るが、次は何をしたらよいかまで考えが及ばない様で指示待ちもしくは興味のあるものへ移行してしまうといった様子でした。当初のキャンプの目的である「自分で考えて行動でき、協調性を身に着けること」とはほど遠いものとなり、指導者として大いに反省するところです。20 数年この仕事をしておりますが、今一度子どもを取り巻く環境、社会情勢を分析し、指導方法やプログラムの見直しをしていきたいと思えます。それに伴い、事前のご家庭での様子や保護者様の子育てに対する考え方も共有することも必要と考え、申込用紙の見直しや事前説明会の開催も考えていきたいと思えます。

反省点ばかりですが、子ども達のアンケート用紙を見ると次回への意気込みを感じられるものが多く、次回に向け大いに励みになりました。

子育ての目的は「自立させること」です。保護者の皆様におかれましてもこれを合言葉にして頂ければブレのない子育てになると思えます。微力ながら支援は惜しみませんのでなんなりとご相談ください。

私どもの活動を理解し協力して下さった、三国窯の大原砂利様、林業体験の大原亀義様、農業体験の三室農事組合法人の皆様、心より感謝申し上げます。

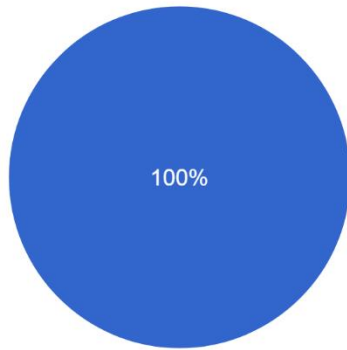
最後になりましたが、このキャンプの機会を与えて下さった県教育庁生涯学習課様、そして勇気をもって、お子様を送り出して頂いた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

特定非営利活動法人 自然体験活動支援センター  
代表理事 福水満之



### プログラムの内容はいかがでしたか？

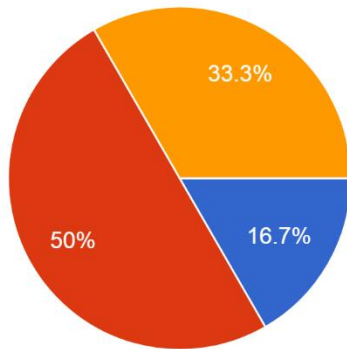
6件の回答



- とても良かった
- 良かった
- あまり良くなかった
- 良くなかった

### 本事業をきっかけに防災への備えを何かしましたか？

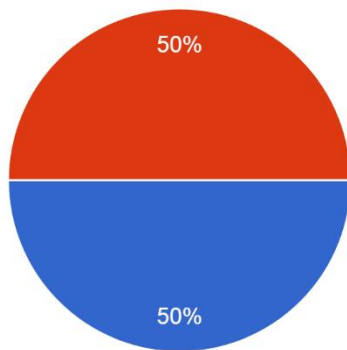
6件の回答



- 備えをした
- 今後する予定である
- 特に何もしていない

### 本事業は4泊5日でしたが、開催期間についてどう思われますか？

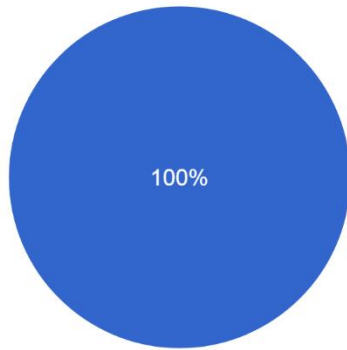
6件の回答



- もう少し長くても良い
- 丁度良い
- 少し長すぎる

今年の本事業について、総合的にどのくらい満足していますか？

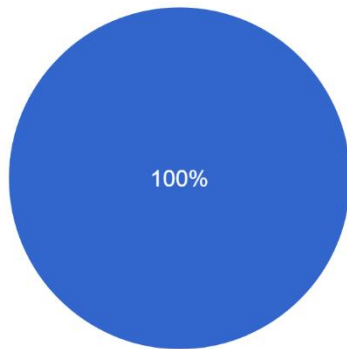
6件の回答



- とても良かった
- 良かった
- あまり良くなかった
- 良くなかった

また、このキャンプに参加したいと思えますか

6件の回答



- ぜひ参加したい
- 参加したい
- あまり参加したくない
- 参加したくない